大型UUV研究の進展～水中からの挑戦～(1/2)

艦艇装備研究所　水中対処技術研究部　無人航走体連携研究室

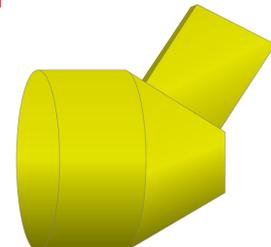
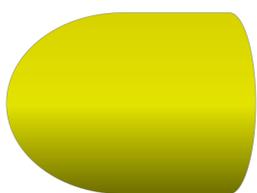
事業概要

目的　**我が国を守り抜くために必要な機能・装備の一つである、無人アセット防衛能力の早期創製を目指し**、多様な任務に対応可能な水中無人機(UUV)を実現するためのモジュール交換可能な長期運用型UUVを研究する。

将来のUUVに求められる主な能力

・ 遠方から高脅威下へ単独で進出
有人艦の伴走なしの長期運用／長距離進出能力
強化された信頼性、残存能力
自律性（状況認識、判断、行動）の高度化
・ミッションの拡がり、複雑なミッションへの対応
重量物（水中機器等）の設置
常続的な情報収集・警戒監視・偵察

研究内容

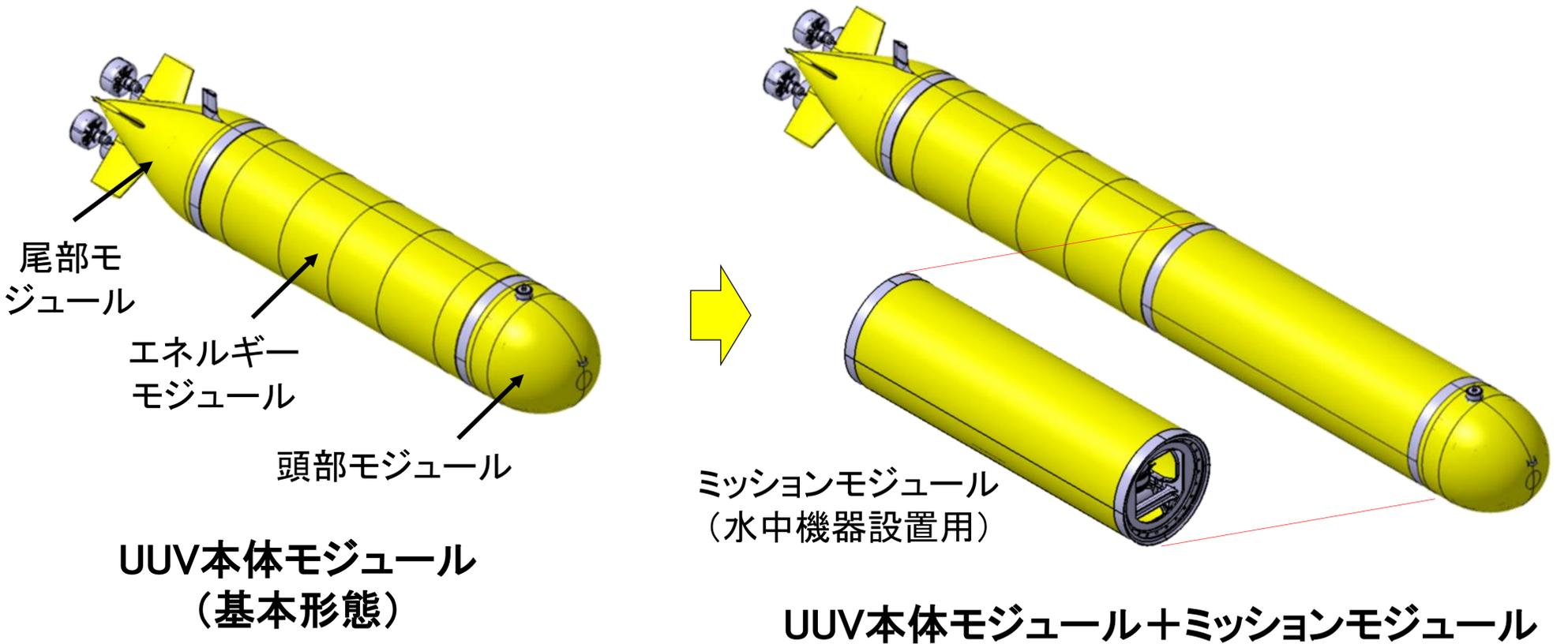
・UUVの現行の信頼性、自律性を向上
・水中機器設置機能の実現

モジュールの組合せで様々なミッションに対応

大型UUV研究の進展～水中からの挑戦～(2/2)

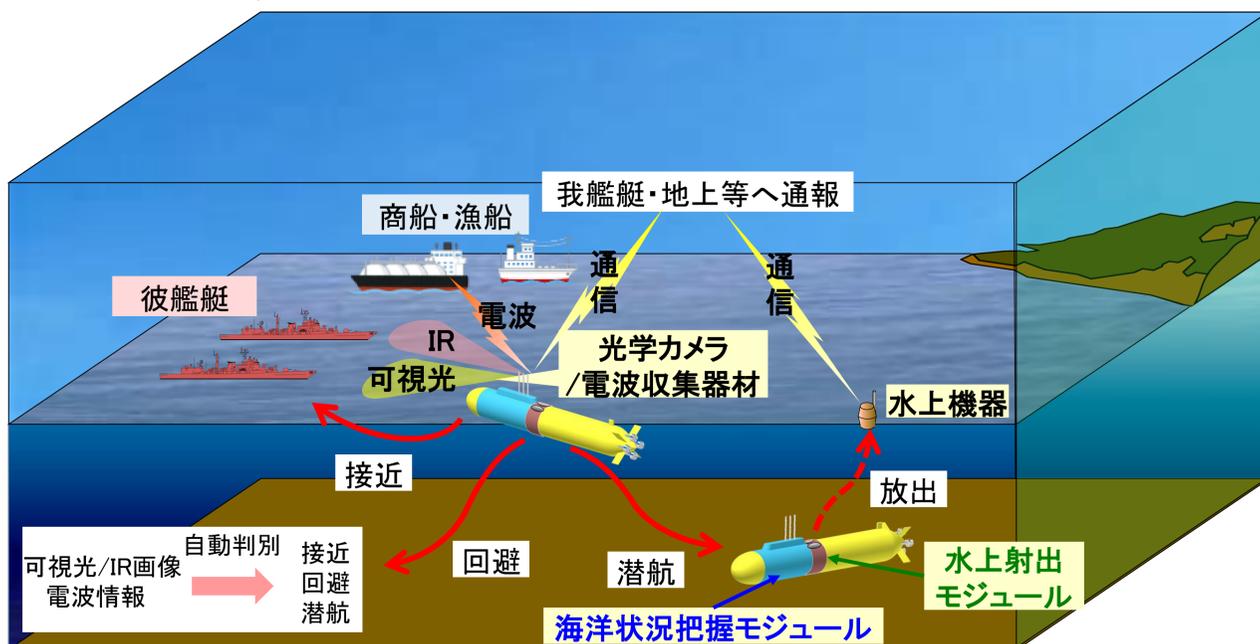
艦艇装備研究所 水中対処技術研究部 無人航走体連携研究室

研究試作品概要

UUV本体モジュール（基本形態）

UUV本体モジュール＋ミッションモジュール

実海面において、水中機器設置試験、及び長期航走試験を実施中

今後の予定

追加のミッションモジュールとして、洋上の警戒監視能力強化のための海洋状況把握モジュール、及びUUVからの水上機器展開を可能とするための水上射出モジュールを研究試作中

その他

シップ・オブ・ザ・イヤー2022 海洋構造物・海洋機器部門賞受賞